

令和 8 年 1 月 30 日
日立市市長公室総合政策課

日立市総合計画後期基本計画策定支援業務公募型プロポーザル 質疑に対する回答

(受付順)

No.	質 疑			回 答
	資料名	ページ・行	内容	
1	基本仕様書	P 1	<p>5 (1) ア(ア)</p> <p>人口動態をミクロな単位で分析する際には、一般公開されていないデータ(例: 学区別の出生・死亡・転入・転出の5歳階級別・性別データ)が必要となるが、取りまとめた提供可能なデータはあるか。</p> <p>また、何か年程度を対象として想定しているか。【共通要件】④から想定すると事業開始と同時に受領が必要となるが提供可能か。</p>	<p>提供可能です。住民基本台帳に加工を加えたデータの提供を想定しています。</p> <p>期間についても直近 10 か年程度を想定しています。詳細な期間については協議の上決定します。</p> <p>事業開始と同時に渡しすることは可能です。</p>

No.	質 疑			回 答
	資料名	ページ・行	内容	
2	基本仕様書	P 2	<p>5 (1)ア(イ)</p> <p>多角的要因分析について、従来関連がある要素および新視点の要素を用いての分析が仕様として記載があるが、こちらについても貴市でのミクロな単位かつ経年でのデータ取得が可能か。</p> <p>また、再現性を前提とするに当たって、今後に亘って継続的にウェルビーアイング指標の主観的なデータや住宅価格等のミクロな単位のデータについて貴市においてデータの取得を継続する考えてもよいか。</p> <p>加えて、【共通要件】④から想定すると事業開始とほぼ同時に提供が必要となるが可能か。</p>	<p>本市が有する既存データに限らず、新たな視点によるデータの活用を含めた分析を想定しています。</p> <p>データの取得先・取得方法を含め、提案をお願いします。</p>

No.	質 疑			回 答
	資料名	ページ・行	内容	
3	基本仕様書	P 2	<p>5 (1) ウ(ア)</p> <p>人口動態の要因分析については統計的なモデルを使用するため、人口増減に寄与する施策が物理的に難しい(例：東京との距離を近づける)場合や規模が市の予算に比べて十分に大きい(例：移住者に住戸を無償で提供する)場合など現実的でない項目が効果が大きい項目として出てくることが思料される。これについては、実施が難しい施策でも提案すべきか。分析結果から考えると効果が非常に弱い（もしくはほぼない）ものも施策として提案すべきか。</p>	各種分析によって得られた結果を基にしつつ、実現性、効果を踏まえた上で提案をお願いします。
4	基本仕様書	P 2	<p>5 (1) ウ(イ)</p> <p>ペルソナを設定する都合上、KPI の設定についても特定の属性における達成率(例：大甕のアパートに住む独身若手技術者の定住意向度)の設定が求められるが、このような複雑な条件のデータについて取得可能性はあるか。継続性の観点からどのようにデータを取得していく予定か確認したい。</p>	データの取得可能性も踏まえた上で、提案をお願いします。

No.	質 疑			回 答
	資料名	ページ・行	内容	
5	基本仕様書	P 3	5 (1) ウ(ウ) 要因分析とは何を指しているのか。	既存施策のアウトプット・アウトカム指標は何が要因となり当該数値を示しているのか把握したく記載しております。
6	基本仕様書	P 5	5 (3) 文章は発注者から提供とのことです が、その他の素材（写真、イラスト等） は発注者で用意する必要があります でしょうか？	イラストや図表等については、原則、 受注者での用意を想定しますが、受注 者からの要望や協議に応じて発注者が 用意することも想定しています。 写真については、発注者での用意を 想定しています。
7	基本仕様書	P 6	5 (4) ア 想定するアンケートのサンプル数や グループインタビューの回数について ご教示下さい。	想定する回数等については、「日立市 総合計画（令和4～13年度）」での各実 績となります。総合計画本編の資料編 を御確認ください。
8	基本仕様書	P 6	5 (4) イ 想定する各会議の開催回数について ご教示下さい。	想定する回数等については、「日立市 総合計画（令和4～13年度）」での各実 績となります。総合計画本編の資料編 を御確認ください。